

ほすびたる

No.736

令和元年5月20日
福岡県病院協会

C O N T E N T S

声	トレーシングレポート共有化 システムによる多職種連携推進事業	公益社団法人福岡県病院協会 参与 公益社団法人福岡県薬剤師会 副会長	神村 英利 ①
病院管理	済生会二日市病院 検査部の業務改善について	社会福祉法人恩賜財団済生会 福岡県済生会二日市病院 検査部技師長	新田 誠 ③
	病院の理念とは	宗像医師会病院 企画情報管理室長	小斉 勉 ⑦
看護の窓	“塩分制限 6g / 日” から 見えたもの	社会医療法人財団池友会福岡和白病院 看護部長	早川 明美 ⑩
特別寄稿	脚気論争 (14)	国立病院機構九州がんセンター 名誉院長	岡村 健 ⑫
教 養	植物・昆虫からヒトの 健康と疾患を考える	地方独立行政法人福岡市立病院機構 理事長 福岡市立こども病院 院長	原 寿郎 ⑮
Letter	時事管見 ～改元狂騒曲～	国立病院機構九州医療センター 名誉院長 学校法人原学園原看護専門学校 名誉校長	朔 元則 ⑳
Essay	法隆寺にふる雨	元医療法人誠十字病院 平衡神経科 医師	安田 宏一 ㉒
	人体旅行記 股	国立病院機構都城医療センター 副院長	吉住 秀之 ㉓
■福岡県私設病院協会「平成31年4月福岡県私設病院協会の動き」			㉔
■福精協の広場「人材育成について思うこと」			㉕
■福岡県病院協会だより			㉖
■編集後記			岡嶋泰一郎 ㉙

Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。
ネットワークを利用した読影サービスで、
あなたをバックアップします。



Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～
医療に地域格差があってはならない
そう私たちは考えます。

ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～
放射線科の先生向けに、遠隔
読影システムから課金に至るまで
統合的にサービスをご提供します。

株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1
九電工福岡支店ビル6階
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



理事長 江頭 啓介

専務理事	佐田 正之	理事	津留 英智
理事	原 寛	監事	杉 健三
理事	陣内 重三	監事	松村 順
理事	牟田 和男	事務局長	日比生英一

〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

トレーニングレポート 共有化システムによる 多職種連携推進事業

公益社団法人福岡県病院協会 参 与
公益社団法人福岡県薬剤師会 副 会 長

神村 英利

2015年、厚生労働省は、かかりつけ薬剤師・薬局機能を明確化し、薬局の将来像を示す「患者のための薬局ビジョン」を策定し、翌年にはビジョン実現のためのアクションプランを作成しました。以後、患者のための薬局ビジョン事業が全国で展開されています。福岡県においても本事業が行なわれており、2018年度は福岡県薬剤師会（以下、当会）のトレーニングレポート共有化システムによる多職種連携推進事業および患者情報に基づく薬学管理推進事業が採択されました。そこで、本稿では今年度、横展開していく予定のトレーニングレポート共有化システムによる多職種連携推進事業について紹介させていただきます。なお、トレーニングレポート（施設間情報連絡書）は、薬剤師が医師に緊急性のない疑義を照会する際にも使用される文書です。

当会は医薬品発注管理・備蓄情報共有システム Virtual Pharmacy Computer System (VPCS neo；以下、VPCS) を持っており、約7割の会員薬局が利用しています。このVPCSに地域連携機能を付加し、トレーニングレポートをインターネット上で多職種が閲覧できるシステム（新VPCS）を構築しました。そして、2019年1月から福岡地区の1医療機関、25薬局および宗像地区の1医療機関、13薬局で試験運用を開始しました。

病院では入院時の持参薬鑑別や初回面談で患者の服薬情報を十分に把握できないことがあります。この場合には、薬剤部から薬局に問い合わせをすることになります。また、退院時には

お薬手帳や退院時薬剤サマリーに入院中のイベントや処方情報等を記載して、患者に渡しています。しかし、現在のところ、薬局から病院に情報提供を行う手段が整備されていません。そこで、当会の会員は新VPCSを利用して、病院とのやり取りをトレーニングレポートのメール送信で行なえるようにしたのです。

これまで、薬局から病院への情報提供はほぼゼロでしたが、新VPCSの試験運用開始後2ヶ月で42件に上りました。また、現在は新VPCSを利用していない薬局とはトレーニングレポートをFAXでやり取りするようになっています。本事業で経験した事例を表1に示します。入院確定時に薬剤部から薬局に患者の情報提供を依頼したところ、外来での治療経過、調剤方法、他院からの投薬状況、キーパーソン等が報告されました。一方、退院時には薬剤部から薬局に入院中の治療経過、退院時処方と調剤方法等の情報提供と申し送りが行われました。これまでも、病院と薬局はお薬手帳や検査値印字処方箋等を介して情報連携してきましたが、新VPCSを活用することで、確実に詳細な情報共有が可能になります（図1参照）。

新VPCSは、経口抗がん剤等のハイリスク薬を服用している外来患者について、病院から薬局にチェックしていただきたい項目を伝え、その結果を報告していただくといった副作用モニタリングのツールとしても応用可能と思われます。また、将来的には新VPCSを活用した訪問看護師やケアマネージャー等との連携も視野に入れていきます。

表1 トレーシングレポート共有化システムによる情報共有の例

<p>X年 1/15</p>	<p>入院確定時 薬局 ↓ 薬剤部</p>	<p>本日、お電話いただきました〇〇様（生年月日：●年△月▲日）に関して、下記のとおり情報提供を行いますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>12/18 ■内科での定期処方は……、リクシアナ OD錠 60 mg 0.5T, 1 × 朝食後、アクトネル錠 75 mg 1T, 1 × 起床時（毎月 20 日）です。 アクトネル錠 75 mg 以外は一包化 M-T-A（5.5-0-2）しています。 夜間頻尿のため、他院からベタニス錠 50 mg 1T, 1 × 夕食後を投薬中です。</p> <p>12/28 不眠の訴えがあり、……が開始になりました。</p> <p>1/4 消化性潰瘍による下血があり、臨時薬……が開始されました。 定期薬と臨時薬で処方日数が異なりますが、ご本人の希望により、これらを再分包 M-T-A（8.5-1-4）して、定期薬の残りは当薬局で預かっています。 ご自宅での服薬管理は娘さんがされています。（以下省略）</p>
<p>1/31</p>	<p>薬剤部 ↓ 薬局</p>	<p>〇〇様（生年月日：●年△月▲日）の処方意図を含めた情報提供をありがとうございます。</p> <p>昨日（1/30）入院されて、本日（1/31）手術予定です。 持参薬につきましては再分包と日数調整をありがとうございました。 リクシアナは昨日中止し、再開時期は未定です。 入院期間は2週間を予定しており、娘さんにも面談しております。</p>
<p>2/16</p>	<p>退院時 薬剤部 ↓ 薬局</p>	<p>〇〇様（生年月日：●年△月▲日）が本日退院となりました。</p> <p>リクシアナ錠は2/12に再開しました。 術後、尿量確保のため、……を投与しましたが、現在は中止しています。 退院時の処方内容は、入院時と同じです。 調剤方法（投薬形態*）も入院時と同じにしています。 *一包化している薬、PTPシートのままの薬 来局時にはアクトネル錠の服用（毎月20日）をご確認ください。 居宅での薬学管理をよろしくお願いいたします。</p>
<p>2/16</p>	<p>薬局 ↓ 薬剤部</p>	<p>〇〇様（生年月日：●年△月▲日）の退院時薬剤情報を提供していただきまして、ありがとうございます。</p> <p>さっそく、■内科に2/20服用分のアクトネル錠の処方依頼しました。 2/19の受診時に処方される予定です。 今後ともよろしくお願いいたします。</p>

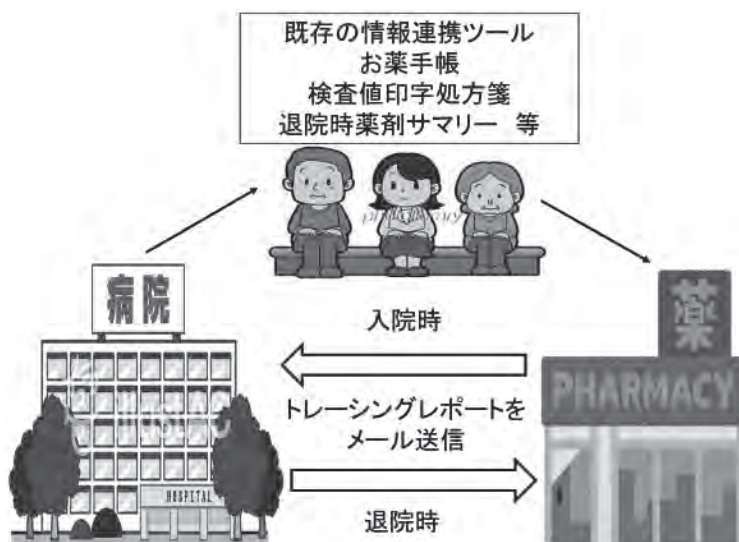


図1 既存の情報連携ツールとトレーシングレポート共有化システムによる多職種連携推進事業

済生会二日市病院 検査部の業務改善について

社会福祉法人恩賜財団済生会
福岡県済生会二日市病院 検査部技師長

新田 誠

1. 二日市という地名はご存知でしょうか

臨床検査委員会の委員に就任いたしました済生会二日市病院検査部新田です。宜しくお願致します。皆様は二日市の地名、場所はわかりますか。福岡市より南に15キロ久留米市との間に位置します。また、国道3号やJR、西鉄の鉄道路線などが広域交通体系上の中核的役割を果たしています。鉄道は二日市-福岡間を12分から30分程度で結び、道路交通は九州自動車道筑紫野インターチェンジもあり、利便性の高い交通条件下にあります。地名の由来は大勢の売り手と買い手が一所に集まって取引をしたことから市が始まり、その市を毎月、二のつく日に行うことから『二日市』と呼ばれたそうです。また、大宰府と二日市の位置関係は、京の東西の市の位置関係とよく似ているので、二日市は大宰府政庁の市町（いちまち）であったと言われています。

また、当院の住所には湯町という地名がついていますが博多の奥座敷といわれる温泉の町です。開場は1300年前の奈良時代にさかのぼります。最古の和歌集である『万葉集』にも詠んだ歌が収められています。以前は『次田（すいた）の湯』、『薬師温泉』、近世は『武蔵温泉』と呼ばれていました。

江戸時代には筑前藩主専用御前湯が置かれ、二日市温泉と命名されたのが昭和25年で当院が開設されて3年後に命名されています。夏目漱石など文豪にも愛された温泉です。また、昭和天皇、江沢民などゆかりのある『大丸別荘』

はじめ温泉旅館だけでなく、どなたでも立ち寄りのできる共同浴場『御前湯』、『博多湯』などがあります。是非一度お越しください。

2. 済生会二日市病院について

昭和22年に済生会福岡病院分院として病床数40床で開院しました。それ以来今日まで済生会創立の精神を受け継ぎ、筑紫地区唯一の公的医療機関として医療や福祉に取り組んでいます。平成13年度には関連のある全福祉施設を『二日市医療福祉センター』として統合し医療と連携した訪問看護やデイサービス、ショートステイなど実現しています。

また、平成24年には福岡県より『地域医療支援病院』『災害拠点病院』の指定も受け

現在は260床の急性期病院として筑紫地区の救急を担うとともに、施設や設備の充実を図り、救急医療体制を整えています。

3. 検査部の業務改善について

臨床検査技師16名（検体、病理検査7名、生理検査9名）午前中検査助手1名で放射線を扱う検査以外の検査を行っています。数年にわたり業務改善を行ってきました。今回は検体部門の報告をさせていただきます。

① 精度管理認証施設

検査結果を担保するために内部精度管理だけでなく外部精度管理である医師会、日本臨床衛

生検査技師会、メーカーなど様々な精度管理を実施して精度を保っています。そしてさらに高品質な臨床検査値の提供を目指して様々な審査基準をクリアし、平成31年度より精度管理認証施設として認定されました。これは臨床検査データの信頼性を維持管理するために「標準化され、かつ、精度が十分保証されていると評価できる施設」に対し、精度保証施設として認証する制度で現在全国805施設が認証されています。

② 業務効率化、コスト削減

次に行ったことが更なる効率化、ヒューマンエラーをなくし技師の疲弊を減らすことを考えました。数年前まで電子カルテにもかかわらず様々なスキャン項目が残っており、その数は年間2万枚弱もありました。そこで限られた予算のなかでメーカーの選定を行い、また協力も得て電子化を進めました。その結果技師の残業も1日1時間から2時間ほど短縮できました。

また、生化学検査では項目、メーカーなどの統一性がなく、メーカーごとに複数のコントロールを使用していました。そのため操作が煩雑になり朝の検査開始時間が遅れる、煩雑さによりヒューマンエラーが起こる可能性がある状態でした。そこで効率化を進めるための生化学検査試薬の再選定を行いました。このことによりコントロールの種類の統一化、また、変更項目試薬の価格交渉を行い年間数百万円の試薬コストの削減ができる見込みです。業務削減、コスト削減だけでなく、スムーズな精度管理ができ検査時間の短縮もできました。

③ 医療法改正

昨年12月に医療法改正が行われました。精度管理責任者の選定、様々な点検簿、作業日誌、標準作業書の作成が不可欠になりました。業務作業日誌、点検簿、装置・修理是正記録など管

理にかかわることは作りましたが、あえて管理職でなく中堅技師で技師会の精度管理責任者講習を修了した技師を精度管理責任者に選任しました。業務作業日誌、標準作業書や外部精度管理など多岐にわたる書類は精度管理責任者の指示により複数の技師で作成をするようになりました。今まではどうしても技師長含め一部の技師に負担が強いられていた業務を軽減でき、精度管理責任者だけでなく他の技師も任されたという自覚ができ責任感やる気向上心ができてきました。もし、書類のことなどで不明な点などございましたら検査部に連絡してください。

④ 地域支援病院の検査部として

地域医療支援病院として迅速で正確な検査結果の報告は必要不可欠です。しかし、必要以上の報告は業務の妨げになる可能性があります。そこで検体検査と並行して少数の技師で様々な検査をし、結果を報告することに取り組んでいます。業務として大変な面もありますが裏を返せば検査結果を一気に把握できるメリットがあります。また、画像、薬、カルテ記載だけでなく紹介状などカルテの内容を理解し報告することにより病状の把握ができ必要以上の結果報告、再検査が減ってきました。そして迅速で正確かつ有用な報告ができるようになってきました。日進月歩の医療の中でまだまだ薬、画像などの情報を理解ができているわけではありません。日々技師間だけの情報共有だけでなく他職種の方々より情報を共有することは不可欠だと考えています。いかにスムーズにチーム医療を行うことでより患者さんに最良の医療ができると考えています。今後は自部署だけでなくチーム医療ができるように業務改善を行って生きたいと考えています。

以上当院検査部、検体部門の業務改善について述べさせていただきました。



大丸別荘





▲ 開院当時の二日市病院
◀ 現在の二日市病院



当院の検査室 1



当院の検査室 2

病院の理念とは

宗像医師会病院
企画情報管理室長

小齊 勉

昨年、弊院に新たな病院長が就任した。就任1年を前に院長から病院の理念と基本方針をあらためる旨の発表があった。昨年夏に病院機能評価更新に伴う訪問審査があり、その際サーベイヤーから病院の理念や基本方針について見直しを提言されたことが影響したかも知れないが4月の新年度に向けて現在準備が進んでいる。新しい病院の理念は、「患者さん中心の医療を実践します」に決まった。この理念は筆者が以前勤務していた医療機関で長きに亘り関わった部署の名称と同義であったため極めて感慨深く感じた。当時勤務していた部署名はPFC推進室、PFCとはPatient Focused Careの略であり、患者中心の医療を推進する意味がある。この機会に当時PFC推進室時代に取り組んだ事例を踏まえ、病院の理念についてあらためて思いを廻らした。

PFC推進室の構成メンバーは部長格の医師、看護師長、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、情報システム担当者、財務担当の事務職など多職種に亘った。トップは院長（理事長）であり、オブザーバーとして一般企業から出向したスタッフが加わり構成メンバーに助言する役割を担っていた。メンバーはそれぞれがPFCを実践するためのテーマを選定し、院長直轄の組織としてメンバーである医師にはプロジェクトの遂行に必要な権限が与えられた。当時筆者は、外来看護師長、薬剤師、診療放射線技師とチームを組んで外来患者の滞在時間（待ち時間）に関わるプロジェクトに加わった。以下、この活動について以前発表した内容を一部抜粋して記述する。

外来患者の病院滞在時間調査の結果より、滞在時間のほとんどは診療、会計、薬局（当時は院内薬局での処方調剤）での待ち時間であった。この結果を受けてPFC推進室の当該メンバーは診察室、会計、薬局の業務を詳細に分析した。例えば薬局における処方箋1枚を処理するためのプロセス、薬品の収集（ピッキング）、薬袋の作成、薬品の監査等を行う時間を本来の調剤時間、それ以外の時間を停滞時間と定義した。停滞時間とは調剤業務と調剤業務の間隙の時間であり、この間は調剤業務という生産ラインそのものが停止した状態をさす。この停滞時間は実に調剤時間全体の約70%を占めていた。処方箋1枚を例にひとりの患者のお薬を準備するのに約25分かかっているとすれば、その中の18分は調剤業務における待ち時間である（図1）。

また診察室、会計でも調査分析したが、同様な傾向を示した。外来患者の長い待ち時間は、病院業務における停滞時間の積み重ねがその原因だったのである。PFC推進室はこの停滞時間をつぶすため、生産方式の手本とされるトヨタ自動車のジャストインタイムの手法を業務改善に取り入れ現状の業務を見直していった。

① 業務工程の削減と標準化

業務の内容の一つひとつを全て洗い出してみる。現在の業務は何故やっているのか、本当に必要なのか、もっと簡略化できないのか検討し徹底的に削減する。また作業の動作や手順を標準化し、誰でも同じプロセスで処理できるようにした。

② 作業の平準化と同期化

業務が停滞する原因のひとつに処理量のピーク到達がある。業務の平準化は、このピーク到達を回避する業務体制を敷くこと、具体的には診療予約や診断のために必要な検査、画像診断撮影等が停滞することなくスムーズに流れるように、患者の診療にあわせて各部門間で診察や検査の同期がとれるよう調整を行った。

③ 整流化と1個流し

業務の流れに沿った機器の配置、台数、人員配置をデザインし直し、作業動線の短縮をはかる。また、ものの流れに着目し業務の停滞を招くバッチ処理（一度に纏めて処理する）を止めて全ての業務ラインを1個流しにより処理できるようにした。

加えて、上記①～③をサポートするため目に見える作業状況の確認、見える化であるいわゆる“かんばん方式”を導入する。これらを総合的に評価するために定期的に一定量の処理時間の調査（リードタイム調査）を実施し改善効果の指標とした。これらの改善を継続した結果、患者の病院滞在時間は改善前の約半分に短縮できた（図2）。

外来患者数は年々増加の傾向を示したが、外来業務に伴う職員数は以前とほぼ変化はなかったため、患者数の増加を増員（人件費増）で補うことなく患者の病院滞在時間を概ね半分に改善した訳である。

PFC推進室によるこれらの改善活動は、病院の経営的な側面において“時間”という戦略的な付加価値を再認識させる契機となった。

（第47回日本病院学会にて筆者講演）

当時はTQMなどの業務改善活動はごく一部の医療機関を除いて積極的に取り組む病院はそれ程見あたらず、勿論病院機能評価など公的な第三者機関による病院に特化した質的な評価もなかった時代である。既にかかなりの年限が経っており、昨今は何処の病院でも何らかの待ち時間に纏わる業務改善がなされているがPFC推進室でのプロジェクトは今でも参考になることが結構多い。患者を待たせる理由はいくらでも容易に列挙できる。職員が足りない、診断機器が古い、電子カルテが導入されない貧弱なIT環境など数えれば切りがないが、結局そのしわ寄せは患者に向かうこと、患者の待ち時間は病院の業務都合を優先した結果が招いた人為的なものと当時結論づけた。余談になるが、改善活動を始めて暫くは職員から不満や反対の意見も多々寄せられた。あるコメディカルの責任者はトヨタ生産方式を例に挙げて「わたしたちは患者のための医療を担っているものであり、工場で機械の相手をしているのでは訳がちがう」と会議の場で相当厳しく批判されたこともあった。その発言にPFC推進室の改善活動が扇動的に捉えられていると感じたが、PFC推進室が結果を出すことで最終的には理解してもらったことが今でも記憶に残っている。

病院の理念とは、全ての職員がその意図することを共有しベクトルを合わせていくことこそが本質と思う。そのために当院があらたに定めた患者中心の医療を実践するうえで、医師をはじめ医療に従事する多職種の集まりである病院職員が培うべきは、“全体最適化”であると考え。全体最適化のなかで、医療に纏わる個々が備える高度な専門知識や能力が集団という組織の中で発揮され、その帰結として患者中心の医療が病院全体で実践できれば理想と思われる。先の患者待ち時間短縮の改善事例も決して特定の部門のみで実現できた訳ではなく、関わ

る部門（職員）が相互に調整し連携し、さらに一定の譲歩や妥協、良い意味での歩み寄り（これが全体最適化の最大の目的）なしでは、実現は到底不可能だったはずである。

院長は就任時最初の全体朝礼の中で、「職員の皆さんは、これから病院が何かしてくれることを待つのではなく、職員の皆さんひとり一人が病院に何ができるかをよく考えて行動して下さい」と易しい表現で言葉を添えられた。その

言葉を PFC 的に言い換えれば、最適化できない理由を置かれた環境のせいにはしないと解釈できる。

病院の理念が変わっても職員の行動規範が変わらなければ理念は形骸化してしまう。院長就任後まもなく1年経とうとするが、病院の理念や基本方針があらたまることを契機に、院長の思いでもある患者中心の医療が実践できるよう今後も業務改善活動を推進して行きたいと思う。

図1 処方箋1枚あたり調剤業務時間内訳

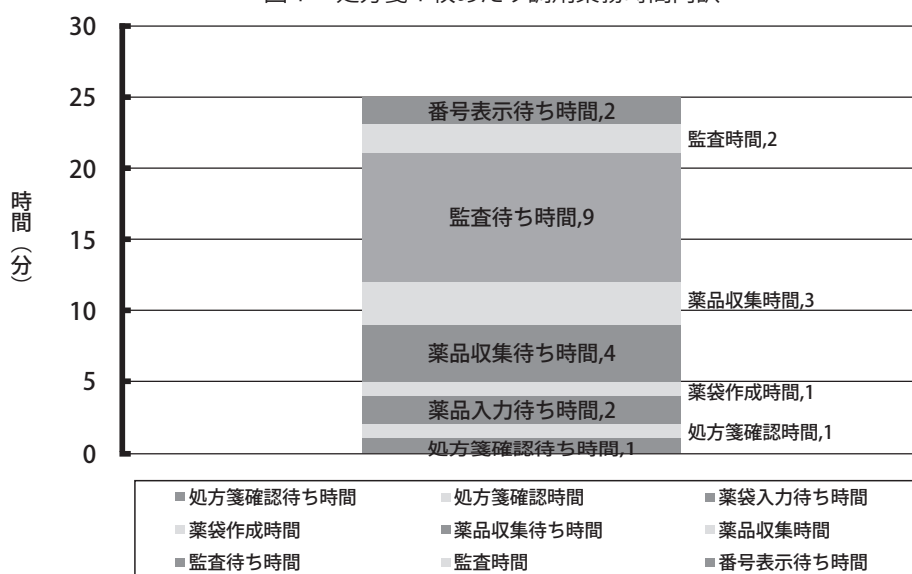
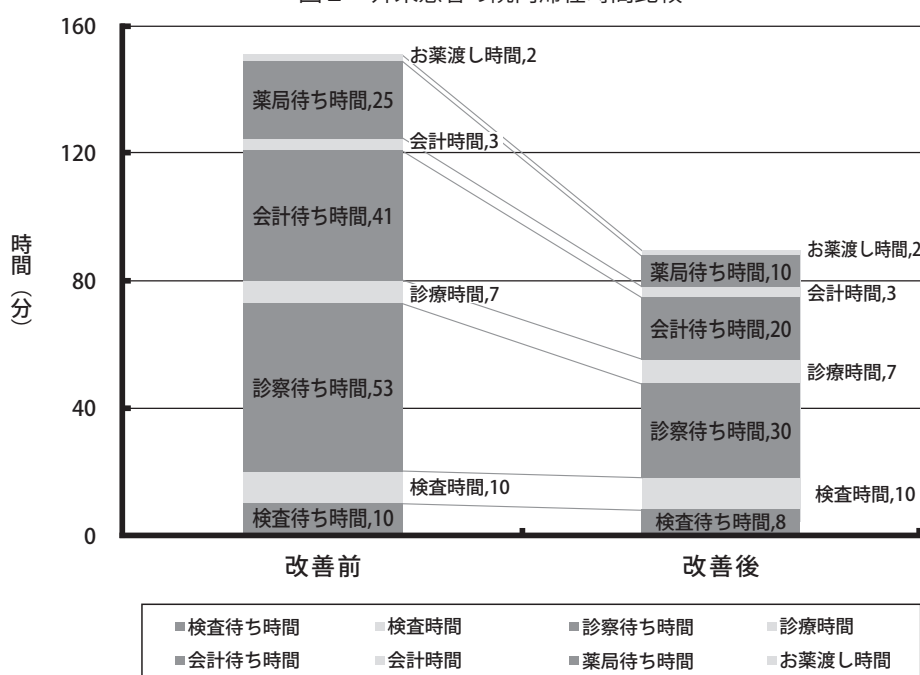


図2 外来患者の院内滞在時間比較



看護 の窓

“塩分制限 6g / 日” から 見えたもの

社会医療法人財団池友会 福岡和白病院 看護部長 早川 明美

「この酢の物は 0.4 g です」手間暇を惜しまない料理上手な当院の看護部長室クラーク安岡さんのちょっと息切れした明るい弾んだ声でした。差し出された、タッパの中身は見るからに美味しそうな酢の物でした。安岡さんは、いつの間にか私の影響で減塩食について興味を持ち最近では栄養成分表示を見て私に「塩分量〇g」で料理をお裾分けしてくれます。

私は 30 代で腎臓疾患を患い、看護師人生と共に患者としても自分と向き合った道りを歩んできました。幸いにも最近まで病状は寛解を保っていましたが、今年に入り寛解しているという過信と環境の変化も重なってか、病状が再発し余儀なく入院生活を送ったのでした。退院後の私に課せられたのは、内服治療と共に減塩 6g / 日という厄介な食事療法でした。

現代では減塩を国民的な課題と考え、食事を健康的にコントロールし生活習慣病予防のためにも減塩活動が活発に勧められています。厚生労働省が推進している日本人の食塩摂取量目標値は男性 8g / 日未満、女性 7g / 日未満が目標値と言われています。元々、料理が苦手な手間暇を惜しむ私にとって食事療法は永遠の課題でした。その様な状況の中で、安岡さんの減塩に対しての料理の工夫やアドバイス、時には減塩食品の紹介まで…それは私にとって厄介な食事療法の“闇”を楽しみに変えてくれた“光”の様なものでした。

また先日、当院の富永隆治院長よりカマチグループ病院で最初の診療看護師三島裕子が、診療看護師として一年目の各科のローター研修を終えた事を慰労し、私を含め食事に誘って頂きました。富永院長は常日頃より、これからの看護師のありかたや求められる看護師像にも多

大な関心と理解を寄せられています。診療看護師に対しても理解が深く三島さんの応援者でもあり、院長自ら慰労して頂く事は感謝以外の何物でもありません。ただ、その時の私は富永院長に誘って頂いた感謝の気持ちと同時に、退院後より減塩 6g を課せられている中での外食に対する罪悪感や、不安から生まれる消極的な気持ちが交差していました。

しかし、誘って頂いたお店は富永院長の行きつけのお店で、事前に富永院長が私の体調に気遣い減塩に対しての情報を女将に伝えて下さっていたのでした。お店に行くと明るい笑顔で機転の利く女将から、メニューの選び方や食べ方のアドバイスがあり、思い掛けない富永院長や女将の粋な計らいのお陰で食事に関する不安な気持ちが一気に消失し久しぶりの外食を堪能させてもらい、とても楽しいひと時を過ごせました。その時の外食を通して、私は病に“臆病”にならず立ち向かう“勇氣”と、周囲の人を頼り“工夫”で乗り切る大切さを、温厚で人望の厚い富永院長から学んだ気が致しました。

私は、そんなアットホームで人情味溢れる職員の多い福岡和白病院に、昨年 10 月に看護部長として着任できた環境に心から感謝しています。福岡和白病院は、今や九州・山口はもとより関東地区を合わせると全 26 施設のカマチグループの基幹病院となっています。カマチグループの創設者である蒲池眞澄会長のもと、地域医療にとどまらず誰もが同じ質の良い医療を受けることのできる断らない医療を目指し「大和民族のための医療」に最善の努力を続けています。

今の私が社会復帰できたのは、信頼できる主治医に巡り会えた事と入院中の医療従事者達の

確かな技術と知識、そして私と言う患者に関心を寄せて頂いた愛の他にはないと思っています。これはまさに福岡和白病院の病院理念「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」そのものでした。

今回の患者経験を通して、今更ながら今後の看護師人生において“何をやるべきか”見えた気がしました。私がこれから看護部長として取り組むテーマは『いのちを守る』事を前提にした『生活支援』と『患者指導』です。

蒲池会長は、何か問題が発生すると自らの考えの拠り所となる文献を提示してくれます。今まで看護部の問題が発生すると幾度となく「看護師の定義」を提示してくれました。「保健師助産師看護師法 第五条 この法律において、看護師とは、厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者若しくはじょく婦に対する療養上の世話又は診療の補助を行うことを業とする者をいう」の条文です。現在、わが国は、未曾有の急速な高齢化社会を背景に医療費比率の増大を抑制できるよう質の高い効率的な医療を短期間に提供しよう追求しています。その代償として、病院に就業する看護師たちは、療養上の世話(生活)より診療の補助(医療)への比重を高めていかざるを得ない状況になっているのです。人生の視点から見ると、入院期間はほんのわずかな期間です。その後の人生は、患者自身と支える家族の方々が“いのち”を守り続けていかなければなりません。その“いのち”を守るためには患者自身と家族の方々に病気に関しての知識が

必要であり、その為には入院中の患者指導はとも重要な意味を含みます。令和元年となる新たな時代に向け、今改めて“看護師の業”として、また人として生きていく営みである“生活”(食事・排泄・活動・休息・清潔・環境調整)に今まで以上に着目することができる看護師を育成したいと思います。そして、患者個人に応じた患者指導を医師や多職種スタッフの協力を得ながら、認定看護師を中心とした、質の高い患者指導を強化する新たな取り組みを始めていきたいと考えています。また、私が看護師長会議の中で患者体験を通して師長達に指導する時の師長達の“目”は師長会議の中で一番輝いています。蒲池会長は日頃から「目は心」と話しています。師長達の患者さんを大切にしている“心”も育んで行きたいと思います。

今日は蒲池会長の地元八女から、職員へのプレゼントとして朝掘り筍が2トントラックで運ばれてきました。看護部長室クラーク達は、総出で筍を手際よく職員に配布しています。仕事だけではない、この様な事からも職員同士のコミュニケーションや一体感が生まれる様は圧巻です。「はあ〜今日は、たけのこ堀に行った気分」とボヤキながら帰る看護部長室クラーク達の後ろ姿が微笑ましく、また主婦でもある彼女達の逞しさを感じます。福岡和白病院の人情味溢れる職員達に助けられながら、今後も私の中にある“6g”から見えてくる“患者の声”を大切に看護部長として邁進する日々が続きます。



脚気論争 (14)

国立病院機構 九州がんセンター
名誉院長 岡村 健

20. 英国医学とドイツ医学；ドイツ医学導入の真相

7) ドイツ医学決定過程 — その4：英医ウィリス側（薩摩と英国）の見解

ドイツ医学導入については、導入に成功した側（ドイツ医学派）には回顧談などの資料が多く残っているので、かなり詳しく確認できる。したがって、ドイツ医学派の談話が真実となりがちである。また、ドイツ医学派に不都合な事は表に出ない。一方、英国医学派は多くを語れず、資料が少ない。また、ドイツ医学派からは、英国医学派に不利な事ばかりが指摘されてしまう。歴史を別の観点からみることで、新しい事実が明らかになることもあると思うので、英国医学派の立場も調査・検討してみる。

① 蘭医ボードウィンと新政府との関係

戊辰戦争中、蘭医ボードウィンは徳川（旧）幕府との契約履行を再三再四、新政府に求めている。新政府はそれならば、東北戦争の従軍医師として雇用しようと要請した。しかし、ボードウィンは、給与増加と傷害、死亡時の恩給を条件としたため交渉は決裂した。代わって、英医ウィリスが無償で従軍することになったので、蘭医ボードウィンは安い給与を理由に新政府に非協力的という不評を買ってしまった。ボードウィン派・相良の功績を著した鍵山 栄著「相良知安」や篠田達明著「白い激流」では、新政府の東北戦争従軍要請を断った西洋医師は「ドクトル某」としか記されていない。鍵山書では、この箇所は富士川 游

の「石黒先生昔年医談」（中外医事新報 第331～337号 明治27年1～4月）の引用だと書かれており、篠田書はこの鍵山書を参考にしている。この富士川 游が記した「石黒先生昔年医談」には「（新）政府は東北戦争での多くの傷病兵を救うため洋医が必要とのことで、オランダ公使に蘭医ボードウィンを雇用しようとして照会したが、（戦争を避けるため）上海に行っているのでは居なかった。そこで横浜に使いを出して洋医ドクトル某に要請したが、戦時であることから高給と負債時または死亡時の恩給までも要求されたので、破談となった」そして「洋医ドクトル某の国名と人名は支障があるので記さない」と書かれている。しかし、相良の回顧談では、ボードウィン自身がそのことを自分の事として相良に語っている。ただ、それは東北戦争従軍の要請を英国公使が横槍を入れて奪ったという事、つまり英国の強引な介入を不当だと相良に訴えるのが主旨である（本誌2019年3月号）。この石黒先生とは石黒忠憲（後の陸軍軍医監・医務局長、非麦飯派の主要人物の一人）のことであり、彼は相良の配下で、ウィリス排除活動の中心人物の一人である。ドクトル某とは相良の恩師ボードウィンであることを表に出さないよう石黒が富士川に要請したのだろうか。あるいは富士川（ドイツ医学派）が石黒先生の意向を忖度したのだろうか。

② 英医ウィリスは私利私欲の医師なのか

明治2年5～6月頃の朝議で、相良は「英医ウィリスが横浜の英商人輩と朝夕密会して営利を図りつつあることの証左をあげた」とされ（鍵山書）、相良自身の談話でも同様のことを話している（本

誌 2019 年 4 月号)。しかし、この件に関しては、ウィリスの東北戦争従軍中、東京の大病院で留守を預かっていた英医・シッドールが次のように報告している（神谷昭典書およびヒュー・コートツイ書・中須賀哲朗訳；筆者が概略）。

.....

東京の大病院では東北戦争での負傷兵が急増し、医薬品はすぐ使い切ってしまったが、従来からの購入先だった横浜のオランダ商社からでは、供給量が要求どおりでなく、小病院でも 3～4 か月も補給が滞っていた。しかもその価格は英国薬よりも 4～5 倍も高かった。そこで、英国商社から卸価格で大量に購入すると安くつくことを主張した結果、英薬方を全面導入することになった。

.....

この事実から、英医ウィリスが横浜の英国商人を通じて私服を肥やしていると相良が批判したのは蘭医ボードウィンが取引していたオランダ商社の既得権益が奪われたことが背景にあったからと思われる。相良の批判にも係わらず、新政府は英方薬全面導入を決めた。この事実は、新政府が相良の意見を鵜呑みにはしていなかったことを示している。

また、ウィリスが医療を利用して私服を肥やすような人物ではないことの傍証として、鳥羽伏見（京都）の戦いで負傷した多くの薩摩兵を救った時の記述（倉迫一朝著「病気を診ずして病人を診よ一 麦飯男爵 高木兼寛の生涯一」）を次に紹介する（筆者が句読点変更と括弧を一部追加）。

.....

外国人の入京は国体の地を汚すとして反対者も多く、（英医）ウィリスの京都入り実現は一時危ぶまれたが、大山巖（西郷隆盛の従弟、後の陸軍元帥）が、人の生死の問題、全責任は俺がとると、ウィリスとその友人（英国公使館通訳）アーネスト・サトウを船に乗せ淀川を伏見へと遡行。強行突破作戦を敢行した甲斐あって、朝廷からの入京許可も出て、ウィリスは（慶応 4 年 1 月 27 日）、無事、アーネスト・サトウと共に京都入りした。

相国寺の養源院（薩摩病院）で傷病兵たちの治療に当たった。大山は薩英戦争における体験から、西洋医術が負傷した薩摩将兵の命を救うと確信していた。事実、ウィリスの手術によって、西郷隆盛の弟で（銃弾を受け）重症の西郷信吾（従道、のちに海軍大臣）をはじめ、負傷した薩摩兵の多くの命が救われた。西郷隆盛らは深く感謝し、謝礼としてウィリスに五百両を贈ろうとしたが、ウィリスは英国公官吏としては受け取るわけにはいかないと謝絶した。こうしたウィリスの医療技術や品行のすばらしさは、たちまち薩摩藩主・島津忠義から朝廷の耳にも届く。明治天皇は、ウィリスを英国公使パークスと共に謁見し、感謝の念を伝えている。

.....

③ 相良・岩佐の活動に対する薩摩側の動向

相良・岩佐の活動に対し、薩摩側はどのように対処したのだろうか。それに関連する歴史的動向（東北戦争終結後）を再度抜粋する。

明治2年	1月20日	英医ウィリスが東京の医学所に雇用
同	1月22日	岩佐、相良が医学校取調御用掛に任命
同	1月25日	蘭医ボードウィンを大阪仮病院・医学校へ招聘
同	2月17日	緒方惟準が大阪仮病院院長に、ボードウィンが医学校教師に任命
同	5月10日	岩佐が蘭医ボードウィンも東京の医学校に採用したいと英医ウィリスに提案するもウィリスが拒否した（松岡から大村への書簡で報告）
同	5月14日	<u>石神良策（薩摩藩医）が医学校諸局取締に任命される</u>
同	5月15日	相良・岩佐が医学校権判事に任命
同	5月25日	<u>石神良策が病院取締を辞任。薩摩藩医も医学校兼病院を辞す。佐倉順天堂・佐藤尚中一門が後を継ぐ</u>

相良は蘭医ボードウィンを経済の医学校に雇用するとの約束を果たさなければならなかった。しかし、既に英医ウィリスが雇用されていたので、岩佐や松岡らと相談し、ボードウィンを経済の二人目のヨーロッパ医師として雇用するとの提案をウィリスにしたと考えられる。しかし、ウィリスがこの提案を拒否したのである（尾崎耕司著；松岡が大村へ報告した書簡）。

この頃、英医ウィリスを支持していた薩摩藩医・石神良策は東京医学校諸局の取締に任命されるが、僅か11日後には辞任している。同時に薩摩の医師たちも辞めて、佐倉順天堂・佐藤尚中一門が後を継いでいる。石神家に保管されていた「石神良策を偲ぶ談話会速記録」によると、蘭医ボードウィンを経済医学校に雇用する提案について、石神が相良や岩佐と激しく衝突したことが次のように記述されている（太田妙子著「石神良策（1821～1875）：海軍軍医の祖」醫譚 2015年）（括弧、句読点は筆者が追加）

.....

石神六郎君（石神良策の養子の発言）…（前略）岩佐さんにもう一人相良、この人との衝突です。それは軍事（戊辰戦争）の時には、何とも言わずに、平時の時、初めて口を出した。それは、この病院（東京の医学校兼病院）はオランダのボードウィンが徳川幕府と契約になって、既に器械から寝台に至るまで注文したのが到着して、（新政府が）今、怪我人に応用した。そういう訳で契約がもう既に徳川政府の方からしてあって、それで是非、其の者（ボードウィン）を雇わなければならぬ、ということを経済さんから相良さんへお話しがあった。

（これに対して石神は）、これまで沢山の怪我人を取扱ったのは誰が取扱ったか。これは局外の英国人が取扱っている。ウィリスとシドル（シッドール）で、ウィリスが重（主）に取扱った。それが事が成就（戊辰戦争が終結）してから、先約があるから、己（ボードウィン）を雇えというのは大変不条理である。先約があっても、約束した政府

はもう変わっている。約束を是非履行しなければならぬのなら、何故に約束した時に来て働かぬか（ボードウィンは新政府による東北戦争従軍要請に応じなかった）。其の時に来ても黙っておって、そうして事が定まってから、約束を己が先にしたというのは、はなはだけしからん。是非、其の者（ボードウィン）は破約して、今まで尽力した人（ウィリス）を使おうと（石神が）言うのに、片方（岩佐や相良）は先約をどこまでも主張します。そうして相良さんと岩佐さんが余程政府の方へ陳情になったものですから、ボードウィンを使へということに大方、内命があったものです。それから、そういう事ならば断然、自分（石神）は辞すると辞して、国（薩摩）へ帰って、新たに一つの病院をこしらえて、人を教育するというところで、西郷さんに相談しました。（すると）西郷さんは、それは好いことだから、お前に任すという話であったものですから……。

.....

蘭医ボードウィンを経済の医学校へ雇用する案に対する薩摩藩医・石神の反論は、納得できる。新政府も石神と同じ見解だったのだろう。ボードウィンの東京医学校雇用の話は萎んでしまう。この時点で相良らは東京医学校へのボードウィン雇用は断念せざるを得なくなる。相良は恩師ボードウィンとの約束を果たせなくなってしまった。これ以降（明治2年5月頃）、相良らは活動方針を変更し、ボードウィンの東京医学校雇用を諦め、その代わりに英医ウィリスを同医学校から排除して、ドイツ医学導入へと舵を切る。

④ 石神ら薩摩藩医の辞任後、東京医学校を佐藤尚中一門に託したのは何故か

この時期の医療ことを理解していただくため、予備知識として、幕末における蘭方医の状況について概説しておこう。

【幕末における蘭方医の二大勢力（江戸西洋医学所・千葉の佐倉順天堂と大阪の適塾）】

ペリーの黒船来航に慌てた幕府は西洋式の船を

持ち、運航技術を身につけた人材育成を目的に、長崎に海軍伝習所を作った（安政2年）。船も教官もオランダから導入し、伝習生は主に幕臣（勝海舟、榎本武揚）だったが、各藩の士族（薩摩の川村純義、五代友厚、佐賀藩の佐野常民ら）もいた。安政4年8月、幕府の要請で（海軍伝習に衛生士官を付し、医学を学ばせるため）ポンベ（オランダ海軍二等軍医）が派遣され、系統的な本格的医学教育が始まった（長崎医学伝習所）。この時、幕命により**松本良順**（佐倉順天堂・佐藤泰然の次男）が国内留学してきた。海軍伝習所は安政6年閉鎖されるが、ポンベは養成所（日本最初の洋式病院）と医学所を開いて医学教育を続けた（慶應元年養成所と医学所が統合され精得館と改称）。良順はポンベが在日した5年間その座右にあり、ポンベから厚く信頼されて長崎医学所の頭取を務めた。ポンベは帰国する時、良順にオランダ留学を薦めたが、彼は江戸で医学校を作るため、これを断った。

松本良順が長崎を去ると、長崎医学伝習所の主な生徒23名（医学伝習所の生徒は30余名、5年間の通算で150余名という）が良順を慕って江戸へ行ってしまふ。そのため、近代医学の中心が江戸の西洋医学所に移ってしまった。ポンベ・松本時代の医学伝習生には、**司馬凌海、池田謙斎、佐藤尚中**（佐藤泰然の養嗣子）、**関寛斎、佐々木東洋、岩佐純、長与専斎、橋本綱常、伊東玄伯**など幕末～明治の医学界で活躍した人物が育っている。

文久2（1863）年8月、江戸に戻った松本良順は西洋医学所に入り、緒方洪庵（頭取）の下で副取助（副頭取格）となる。翌年6月、洪庵の急逝後、頭取となって、それまでの適塾育成方法（オランダ語の文法書を読み、難文を理解することが目的で諸藩の武士が中心だったので、兵書を読む者が多かった）を大きく変更した。文法書の講読を禁止して、医学講義中心とし、医書以外の書を読むことも禁止した。良順は將軍慶喜の侍医となり、戊辰戦争が東北へ波及すると幕府側の医師として従軍した。東北・箱館戦争が終結すると新政府に

逮捕されるが、得難い人材ということで釈放される。後に初代陸軍軍医総監になる（立花 隆著「天皇と東大」）

江戸西洋医学所と並んで幕府方蘭方医の勢力に千葉の**佐倉順天堂**がある。佐倉藩は代々幕府の老中・大老の要職を務める徳川幕府の中心的な藩である。第5代藩公・堀田正睦（徳川幕府老中）は蘭学を奨励し、天保14（1843）年、**佐藤泰然**を招聘して佐倉順天堂（蘭医学塾兼診療所）を開かせた。しかし、安政5（1858）年、井伊直弼が実権を握ると、正睦は失脚する。後継の堀田正倫は鳥羽伏見の戦い後、慶喜の助命と徳川宗家存続嘆願のため上洛するが、そのまま軟禁されてしまう。江戸城無血開城後、東北戦争の時、藩公不在の佐倉藩は家老の指図で新政府に従うことにした。

松本良順は佐倉順天堂・佐藤泰然の次男だったが、新政府には従わず旧幕府側医師として東北へ従軍した。一方、泰然の後継者・**佐藤尚中**（泰然の養嗣子）は新政府の要請を受け、養嗣子の佐藤進と共に新政府・官軍側の医師として東北戦争に従軍した。ただ、尚中は途中で引き返し、進に後を任せている。良順と争うことを避けたのではとされる。佐倉順天堂で学んだ蘭方医に、**岩佐純、相良知安、関寛斎**がいる。

幕末、蘭方医二大勢力のもう一方は大阪の**適塾**である。創設者の**緒方洪庵**（足守藩；現在岡山市）は長崎遊学でオランダ人医師から医学を学び、天保9（1838）年、大阪で医業と蘭学塾（適塾）を始めた。天然痘予防（牛痘種痘法）に尽力し、文久2（1862）年、幕府の要請で奥医師兼西洋医学所（江戸）頭取となる。**橋本左内、大村益次郎、福澤諭吉、長与専斎、高松凌雲**などが適塾出身である。しかし、文久3（1863）年6月江戸の自宅で咯血し、急逝。

洪庵の息子・**緒方惟準**は洪庵が江戸へ行く前の5年間、長崎医学伝習所でポンベの後任ボードウィン（オランダ陸軍一等軍医）に学んだ。その後、洪庵と共に江戸へ行く。洪庵急逝から1年後、ボードウィンの推薦もあり幕府の命も得て、松本

銚太郎（松本良順の長男）と共に、ボードウィンに連れられてオランダへ留学した。しかし、3年後に大政奉還となり、東北戦争中の慶応4年7月、横浜へ帰国する。同年9月（明治と改元）新政府から宮廷の典薬医に任ぜられる。明治元年10月には、東北戦争で多数の政府軍傷病兵が東京へ送られてくるため、東京下谷の藤堂氏邸宅が病院に充用された時、治療の監督にあっていた（ドーデー女史編「緒方惟準翁小傳」）。なお、緒方惟準は後に陸軍近衛師団軍医長となり、脚気に麦飯が有効であることを実証する（麦飯派）。しかし、陸軍医務局長・石黒忠恵（非麦飯派）と激しく対立して、自ら辞任する（本誌2018年5月号）。

【薩摩、長州の蘭方医と戊辰戦争での新政府軍の従軍医師の状況】

幕末の蘭方医は、江戸医学所の松本良順および佐倉順天堂の佐藤一門と大阪の適塾という二大勢力から成っていた。そんな時代、薩・長、両藩の医師はどのような状況だったのだろうか。

長州藩は蘭方医・青木周弼（江戸の蘭方医・坪井信道、宇田川玄真に学ぶ。同門に緒方洪庵がいる）が萩に藩医学伝習所「好生館」を設立し、蘭医学の普及に尽力した。慶應元年以降、適塾出身の大村益次郎が兵制改革し、同時に軍医部も編成していた。鳥羽伏見の戦い（慶應4年1月）では、軍人病院の原型となる「病院」という軍医組織（総管・長野晶英；長崎ポンペ伝習、松本良順一門）を派遣している。一方、薩摩藩は、藩公・島津斉彬が戸塚静海（シーボルト門下）や坪井芳洲（坪井信道の門下）を藩医に招いたり、長州の「好生館」や大阪「適塾」に藩医を派遣したりしていた。しかし、藩医学校は漢方教育のみであり、藩医も漢方医が大勢を占めていた（神谷昭典書）。

また前述のように幕末の蘭方医養成の中心は徳川幕府が設置した長崎医学伝習所だったが、薩長同盟の頃、薩長両藩の人士らには同医学伝習所の入学が禁止されていた。このことも両藩の蘭方医の育成に影響を及ぼしていたと思われる。ただ、それでも長州の青木周蔵（青木周弼の弟・青木研

蔵の養子）や松岡勇記（適塾一門）は藩命によって長崎に行き、名前を変えて同伝習所に潜入し、講習を受けたという（長与専斎遺著「松香私志」明治35年12月博進社、東京）。

ここで戊辰戦争での出兵と死傷者についてみると、図1のようにになっている。薩摩藩は死傷者が1257人と最も多いが、死傷率は長州藩18.9%、薩摩藩17.2%と両藩が突出している。官軍側の約190諸藩の総出兵数は11万7670人だったが死傷率は5.7%だったことからみると、薩長の死傷率の高さが際立っている。長州藩は蘭方医による軍医部を編成して、何とか対処していたが、薩摩藩の医師の多くは漢方医だったため、創傷の手当が不十分で死亡する兵士も多く、薩摩藩の負傷兵士の救護は緊急の課題となっていた。

藩	出兵 (人)	死傷者 (人)	死傷率 (%)
薩摩	7,300	1,257	17.2
長州	約5,000	944	18.9
土佐	2,717	274	10.1
佐賀(肥前)	5,138	188	3.7
小計	20,161	2,663	13.2
官軍190余藩の総計	117,670	6,656	5.7

図1 戊辰戦争での出兵と死傷者、死傷率
(神谷昭典著「日本近代医学のあけぼの」より引用改編)

この時代、戦争による負傷は大部分が銃弾や砲弾による創傷である。したがって、銃弾や砲弾の破片の摘出術、創の縫合術、四肢の切断術、止血術など、麻酔、消毒、外科手術などの近代西洋医術が従軍医師に求められていた。しかし、当時の医師（漢方医）は、創傷を焼酎で洗い、そのまま縫い合わせたり、軟膏を塗って創傷に差し込んだりするだけだったため、創の感染、敗血症で死亡するものが頻発したという（神谷昭典書）。

若き日の高木兼寛（後の海軍軍医総監、海軍の脚気予防を成功させた人物）も鹿児島九番隊付医師として東北戦争（会津）へ従軍する。しかし、

まだ近代西洋医術を修得していなかったため、野戦病院での高木の手当の様子を見ていた大村藩（佐賀）の医師が「薩摩藩には、この若い医師を育てる医師がないものとみえる」といって大笑いされたという（倉迫一朝書）。

このように薩摩藩では蘭方医が育成されていなかったため、東北戦争に際し、近代西洋医術を修得した軍医の組織編成が急務だった。しかし、英医ウィリスだけでは全く足りない。日本の蘭方医の中で、佐倉順天堂の祖・佐藤泰然は外科を専門としており、その養嗣子・佐藤尚中（図2）も外科技術に優れていた。長崎医学伝習所時代の蘭医ポンペは次のように述べている（J.L.C. ポンペ・ファン・メルデルフォールト著「ポンペ日本滞在見聞記」訳；沼田次郎・荒瀬進、雄松堂書店、東京 昭和43年10月）。

.....

（前略）日本人学生は外科医として、われわれの力を借りずとも、ひとりでも相当の進歩をみせた。相当うまく手術ができるようになった人が何人かいた。この人たちは動物を使って練習することによって、特に血管の結紮ぶりが上手になり、大変熟練した腕を見せていた。さる大名の藩医である佐藤氏（佐藤尚中）は事実まことに優れた外科医であった。佐藤氏は何回もこっそり屍体を使用して手術を行った。私が生きた人体についてやらせた手術の技倆（量）からみると、彼はきわめて優れた手術者であることがわかった。その仕事は正確であり、迅速かつきわめて冷静であった。しかし、みなさん、佐藤氏のごときは例外であることを承知していただかねばならぬ。

.....

当時、佐藤尚中の外科医としての腕は一流だったのである。新政府は外科手術を得意とする佐倉順天堂・佐藤尚中一門を招聘し、佐藤進、太田道舜、板内伯隆、磯玄恭、相馬相介、岡玄庵らを天朝病院（薩摩病院）に配置した。ただ、前述のように、佐藤尚中は会津へ向かう途中で引き返し、佐藤進に後を託している（幕府軍に従軍し



図2 若き日の佐藤尚中
（佐藤道夫氏所蔵）

た松本良順と敵対することを避けたのだらうとされる）。

東北戦線での幹部軍医の配置は、平潟口・海道軍に関寛斎、白河口・山道軍に佐藤進、越後口・北越軍に長州の赤川玄樸（江戸の川本幸民に入門、後に佐藤尚中一門）と英医ウィリス、越前藩の橋本綱維、綱常兄弟である。英医ウィリスを除けば、すべて長崎医学伝習所の松本良順、佐藤尚中一門である。

なお、赤川が江戸で学んだ川本幸民は兵庫の三田藩医だったが、江戸の足立長雋や、坪井信道に蘭学を学び、その後、薩摩藩公・島津斉彬に見出され江戸で薩摩藩医に転じた。また、佐藤一門の薩摩病院への招聘に関しては、徳島藩医・関寛斎が尽力したのではと推察されている。それは次のような事情によるものと思われる。徳島藩公・蜂須賀斉裕は第11代将軍・徳川家斉の子だったが、英公使パークスと通訳アーネスト・サトウを招いて国際情勢の把握に努め、藩の軍制を英国式にするなど英国との関係を深めていた。斉裕が鳥羽伏見の戦いの頃、病死したので、後継の蜂須賀茂韶は新政府側について、東北戦争に官軍として出兵した。

このようにみると、松本良順および佐藤尚中一門の蘭方医の人材がいかに豊富だったかが判る。新政府（特に薩摩）も彼らの協力が必要だったのである。そして、戊辰戦争での彼らの貢献度から、薩摩藩医・石神良策辞任後の東京医学校を佐藤尚中一門に託したのは当然だと納得できる。

植物・昆虫からヒトの健康と疾患を考える

地方独立行政法人福岡市立病院機構 理事長
福岡市立こども病院 院長

原 寿郎

植物・昆虫というと薬草や冬虫夏草などの漢方薬の話かと思われる方がおられると思いますが、私の専門の免疫に関係した話題を提供したいと思います。温故知新という言葉がありますが、ヒトの歴史のみでなく他の生物の発生、成長や進化を知ることにも時に医学に役に立ちます。

約46億年前地球が誕生し、38億年前に真正細菌、20～15億年前に真核生物が現れました。10億年前に植物が、6～7億年前に節足動物(昆虫等)が出現しました。最古の脊椎動物が誕生したのは5億年前、人類の祖先(猿人)は600～700万年前、ホモ・サピエンス(新人)は5～20万年前に出現したとされています。10～6億年進化の“大先輩”である植物、昆虫はヒトと類似した微生物に対抗する自然免疫機構を有していますので、ヒトの感染免疫疾患を考えるうえで参考になります。

植物には根、葉などを覆う微生物の集合体、植物マイクロバイームがあり、その多様性・数は根の周りで最も豊富です。植物の根の分泌物と土壤微生物とによって影響されている土壤空間は根圏(rhizosphere)と呼ばれ、感染防御の場、窒素・リンなどの栄養供給場所として働いています。MontgomeryとBikleはその著書*The Hidden Half of Nature. The microbial roots of Life and Health 2016*の中で、土壤を消毒して微生物を殺した土で栽培した植物は病原体にやられたり栄養不良となりますが、微生物が豊富な土をわずか1000分の1混ぜると発病が抑止されることから、植物の健康の鍵が土の中の微生物にあることを述べています(図1)。

一方昆虫に関しては、細川貴弘著『カメムシの母が子に伝える共生細菌 共立出版2017』に

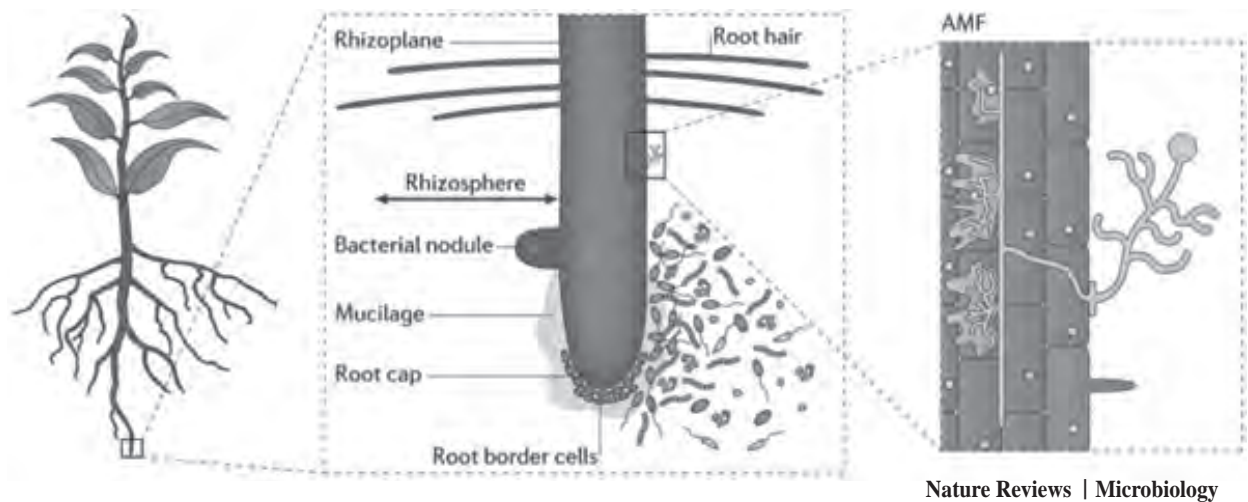


図 1

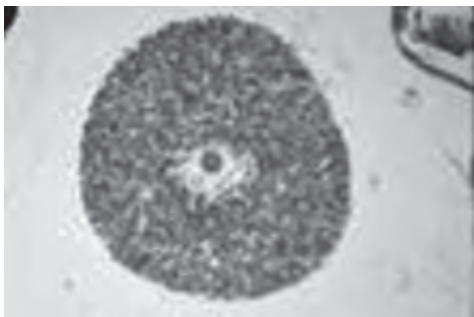


図 2 菌細胞

カメムシの共生細菌の驚くべき伝播形式の1つとして、“菌細胞”（図2：中心にあるのは菌細胞の核、周囲の胞体は共生細菌が充満している）を介して母から子へ垂直伝播する方法が紹介されています。菌細胞とは内部に共生細菌をすまわせるために特別に発達した昆虫の細胞です。卵巣内の初期胚がシンシチウムでこの菌細胞から共生細菌を細胞内に取り込み、その後子の菌細胞へと発達するとのことです。共生細菌が自然免疫機構で排除されずにミトコンドリアのように宿主細胞内に住み続けることが出来ることが不思議です。またこの共生細菌を抗生物

質で除くとカメムシの発育が不良になり正常な成虫になれません。

ヒトは口腔、胃、腸、皮膚などにそれぞれ異なった菌種や組成からなる固有の微生物叢（マイクロバイーム）を形成しています。腸内微生物は消化吸収の補助（3000種以上の酵素を産生）、ビタミン等の合成、感染防御、免疫刺激など多彩な機能を有し、ヒトの健康に重要な役割を果たしています。抗生物質投与によりマイクロバイームの菌量や組成が変化し病気を誘発する場合や、逆に健常者の便（微生物）移植がある種の疾患の治療に有効である場合などが報告されています。

抗生物質は現代の医療において感染症の治療に大きく寄与してきましたが、その一方で副作用や薬剤耐性（AMR）の問題をもたらしてきました。ヒトも微生物と共生していますので、抗生物質は可能な限り限定して適切に使用することが必要であることを痛感しています。

時事管見 ～改元狂騒曲～

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則
学校法人原学園原看護専門学校 名誉校長

政治ショーとコマーシャルイズム

日本国民にとって、今年の最重要事項と表現しても過言ではない改元について語るに際し、「狂騒曲とは何事ぞ」とお叱りを受けるかも知れない。私自身もこのタイトルは不敬の極みと考えないでもないのであるが、今回の改元におけるマスメディアの対応、政権の人気浮揚につなげたい政府の対応、商魂逞しい一部の業界、拳句の果てが改元をネタに詐欺行為を企む輩の出現と何とも賑やかな現状を思うとこのようなタイトルしか思い浮かんでこない。

今回は天皇崩御ではなく生前譲位による改元であるから、ある程度のお祭り騒ぎは仕方ないことかも知れないが、これ程までとは思わなかった。

御退位を目前にして、今上天皇（本稿が上梓される頃は上皇陛下）が、伊勢神宮など全国各地を行幸されるお姿を拝見していると、「お元気な間に譲位を決断されて本当に良かった」と私は思っている。国民の多くがそのように思っているのではないだろうか。しかし平成という元号を発表した故小渕恵三元総理を引き合いに出して、菅義偉官房長官をポスト安倍のひとりに擬してみたり、度の過ぎた改元の商業利用等は控えていただきたいものである。

安恵、元英そして和貴

かく言う私も新元号には並み並みならぬ関心があった。毎年お正月に看護学校職員へ出題する「今年はどうな年」というクイズにも、平成29年1月から元号に関する問題を出題していた程である。今年2月には毎日新聞の読者の広場の欄のふんすい塔に「究極の忖度 新元号は安恵とする内閣府」という一文を投稿したのであるが、残念ながらボツであった。もちろん安倍昭恵総理夫

人の名前に典拠するジョークである。

本 Letter の2018年4月号でも取り上げたことであるが、「元」という字は過去に27回も元号に使用された人気の漢字であるので、今回も元が付く元号になることをひそかに期待していた。私は漢籍の知識は全く持ち合わせていないのでその出典を云々することは出来ないが、元則は無理でも私の曾祖父と甥の名前でもある「元英」なら書くのも易しく、意味も良さそうなので可能性が全くないとは言えないと思っていた。SNS上では「安永」が一番人気ということであったが、いくら何でも「安」の字はないだろうと思っていた。「安」では7月の参院選で自民党の大敗につながる心配があるからである。

3月に入って、元号の考案者に国文学の大家も選ばれたと聞いて、新元号は国書から選ばれるのではないかと考えた。漢文で書かれた国書ということになれば古事記、日本書紀が一番に挙げられる。万葉集でも漢字が表音として使用されていることは知っていたが、歌集なのでこれからの引用はないと思っていた。

記紀以外で私が期待していたのは、聖徳太子の第十七条憲法の第一条にある「以和為貴」という言葉である。私には九州大学系列の国立福岡中央病院と久留米大学系列の国立久留米病院が合併して設立された国立病院九州医療センターの立ち上げに際して、両陣営の「和」こそ第一の院是であるとしてこの「以和為貴」を声高に唱え、広報誌等に何度も書いてきたという歴史がある。以和為貴を出典として「和貴」はどうだろうか、私は秘かに期待を膨らませていた。

令和という言葉

新元号は、万葉集の「梅花の歌32首」の序文を典拠とした「令和」に決まった。嫌中、嫌韓の空

気が漂う最近の日本、安倍政権の保守的な体質を考えれば（どちらも私の偏見かも知れないが…）、典拠が国書からになるであろうとは予測していた。しかしそれが万葉集で、しかも「令」という字が選ばれたのには正直驚いた。確かに御令室という言葉は私も手紙等で繁用しているが、「令」という漢字から私が最初にイメージするのは命令、律令などという言葉である。論語の有名な一節に「巧言令色鮮矣仁」という言葉もある。巧言令色とは、お世辞と愛想笑いで権力者に諂う姿を表現した言葉であることは今更言うまでもない。

「令和」という言葉は、拡大解釈すれば「上からの命令だから仲良くしましょう」という意味に取れないこともない。動機が何であれ「仲良くすることは良いことだ」「平和が一番」と考えればそれはそれで良いとも思うのだが…。

平成がそうであったように、時の経過とともに「令和」も次第に国民に馴染んでくることであろう。梅花の宴の舞台となった大宰府が脚光を浴びようになるのも嬉しいことである。

浮き彫りにされた保守派の影

当初は、新元号は発布の数ヶ月前、即ち平成30年の内に発表されると報道されていた。それが改元の1ヶ月前というギリギリの段階まで引き延ばされたのは、「新元号を定めた政令に署名するのは新天皇であるべきだ…」ということに固執する保守派の抵抗によるものと聞く。

保守派の皆さんが、「時を支配するのは皇帝」などという古い中華思想を信奉しているとまでは思わないが、新元号の発表が5月1日になった時の国民生活に及ぼす影響を考えた時、何故このようなことに頑なに固執するのか私には理解できない。

「令和」の考案者と目されている万葉集研究の第一人者、中西進大阪女子大名誉教授が、予定されていたNHKテレビでの会見予定をキャンセルされ、わざわざテレビの前で「私は令和の考案者ではない」と述べられたのも保守派からの圧力によるものではないだろうか。

図らずも今回の改元劇によって、日本国における保守派の存在が改めて浮き彫りにされてしまったと私は考えている。

歴史に残る大遅刻

新元号発表に関する一連の動きの中で、一番の大失態と言うべきは、菅官房長官の会見が予定の時刻より11分も遅れたことであると私は思っている。

新元号発表に至るまでの4月1日当日の詳細なタイムスケジュールは、前日までに公表されており、国民は11時30分キックリに新元号が発表されるものと信じ込んでいた。発表の瞬間を一目見ようと渋谷や新宿の街頭では大型スクリーンの前に大勢の人が集まっていたし、各家庭のテレビの前にもその瞬間を固唾を飲んで待つ人達がたくさん居たことであろう。昼間テレビをみることなど滅多にない私もその一人であった。日本全国では1000万人を超える人達が、テレビの前に集まっていたのではないかと私は想像している。しかるに特別のアクシデントが起こった訳でもないのに菅官房長官は11分間も遅刻してしまった。

ひとりの人間にとっては僅か11分間の遅れかも知れない。しかしこの遅刻によって、1000万人の人達が11分間という時間を無駄に浪費せざるを得なかったと仮定すれば、それは実に1億1000万分、実に約209年間という莫大な時間の浪費になるのである。私は会合等を主催する時、たとえそれが10人の人が集まる宴会であっても、「自分が10分間遅刻すれば100分間の時間の無駄になる」と考えていつも行動している。菅官房長官をはじめ関係各位の猛省を促したい。

不思議なのはマスメディアも野党もこの遅刻を少しも非難しなかったことである。4月10日に更迭された桜田義孝前五輪担当相は、2月21日の衆院予算委員会に3分間遅刻しただけで大ブーイングを浴び、委員会は5時間も中断された。数10人の国会議員の3分間と、1000万国民の11分間のどちらが大切なのかよく考えていただきたいものである。

今月の時事管見、新元号という大変おめでたいテーマなのであるが、極めて辛口のLetterになってしまった。最後に、「令和」の時代が平和で実り多き時代になることを祈念して擲筆させていただく。

法隆寺にふる雨

元 医療法人誠十字病院 安田 宏一
平衡神経科 医師

法隆寺の五重塔の写真を見て、屋根が瓦ぶきであることに気付いた。当時の瓦は本瓦といい、形が京都の八つ橋せんべいに似ている。それを交互に重ねて、屋根をふくのである。そのため、法隆寺の五重塔は、重厚な印象を与えている。後世の多くの五重塔は、檜の皮(ひわだ)でふいているので、軽快である。さらに、法隆寺の五重塔は、屋根が下に行くほど大きくなり、ずっしりとしている。もうひとつ気が付いたことがある。屋根に雨樋がないことである。五重塔だけではなく金堂にもない。これでは雨が軒先から落ちてくると、まるで白糸の滝のようになるのではないか。

わたしは法隆寺に数回行ったが、幸か不幸か、雨に会ったことはなかった。法隆寺で雨にあった人がいるのではないかと、調べてみた。すると、居た。ひとは正岡子規である。俳句に「行く秋をしぐれかけたり法隆寺」というのがあった。いまひとは、亀井勝一郎で、「大和古寺風物誌」(新潮叢書、1988年)に次のような記述がある。「はじめて法隆寺を訪れた日は、俄雨の時折襲ってくる日で、奈良の郊外は見物人も少なくひっそりと静まりかへってゐた」。どちらも小雨なので、屋根から、白糸の滝が流れ落ちる状態ではない。

五重塔や金堂の瓦をつたって落ちた雨は、建物の周囲にめぐらせた溝に落ちる。その溝には小石が詰められていて、雨水が跳ねない工夫がしてある。法隆寺というと、五重塔と金堂を囲

む回廊の中だけを考えがちである。ところが、じつは敷地は非常に広大なのである。五重塔や金堂を中心とした西院。夢殿を中心とした東院がある。その中にはほぼ36もの、国宝・重要文化財の建物がある(山田雅夫、「寺院の歩き方」自由国民社、2017年)。そのうち2つの建物に、雨樋を見つけた。聖霊院(三経院)と舍利殿である。いずれも入り口の上の部分にだけ雨樋をわたし、出入りする人が濡れない配慮をしている(入江泰吉「法隆寺」新潮社、1992年)。ただしその両端には縦樋がなく、上から流しぱなしである。その部位では、雨水は白糸の滝ではなく、那智の滝のようになったかもしれない。どちらも、後世の鎌倉時代の建物であった。



法隆寺五重塔

(入江泰吉「法隆寺」新潮社 1992年)

人体旅行記 股

国立病院機構 都城医療センター 副院長 吉住 秀之

足から北上している人体旅行ですが、中央から南下すると股は左右に分かれる分岐点といえます。睾丸のところでも触れましたが、急所として大切に保護しておかねばならない場所です。

その昔男性の下半身を覆うショースは今のズボンとは違い、左右別々に別れており¹⁾、長靴下のように履いて上衣と紐で結ぶようになっていました。その後ショースは尻の部分が縫い合わされるようになりますが、前部分は用便のため開きっぱなしになるため、コッドピース（フランスではブラゲット braguette）と呼ばれる布で覆われていました。この微妙な空き地を遊ばせておく手はないと考えたのか、やがて小物を入れるための袋が着けられたり、リボンやレースで飾られたりするようになります。この袋にお菓子や果物を入れておいたらしいのですが、ここから取り出されて勧められてもちょっと食べる気にはならないですね。16世紀になると男性の身なりを立派に見せるため、肩などに詰め物をする服装が流行するようになると、それと相まってコッドピースにも藁などで詰め物をして股間のもっこりと自己主張するようになります。ウォーカー・アート・ギャラリーに収蔵されているヘンリー8世(1491～1547年)の全身像²⁾を見ると一目瞭然です。ブレラ美術館のアントニオ・ナバゲロの肖像画³⁾ではそのもっこり感がより目立っており、当時のファッションを知らないとあらぬ誤解をしそうです。今ではこんな格好をしている男性はいま

せんが、痕跡は明らかに認めることができ、映画『スター・ウォーズ』に登場するダース・ベイダー卿の股間にはブラゲットとおぼしき装飾があります。

股間の詰め物が次第に派手になっていったことに似た現象として、生物進化では、配偶者選択におけるランナウェイ説というものが知られています。例えばクジャクの尾羽のように、外敵から逃げるときには邪魔になるほど無駄に華麗な尾羽が雌から好まれることで、その形質が一方に進化していくというものです。この現象が起きるのは、雌が雄を選び好みし、雌を巡って雄が競争をする（させられる？）ことが基礎にあります。進化論を唱えたダーウィンはすでにこの雌の選り好みを仮説として提唱していたのですが、ヴィクトリア朝の時代背景もあり当時は冷笑をもって迎えられました。おそらく現代であればこの仮説はすんなり受け容れられたのではないのでしょうか。

- 1) 英語の trousers（ズボン）や trunks（トランク）などが複数形になっている理由です。
- 2) https://en.wikipedia.org/wiki/Portrait_of_Henry_VIII#/media/File:Henry-VIII-kingofengland_1491-1547.jpg
- 3) <http://pinacotecabrera.org/en/collezione-online/opere/ritratto-di-antonio-navagero/>

●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

平成31年4月福岡県私設病院協会の動き

◎看護部長会運営委員会

日 時 4月5日(金)午後3時

場 所 協会会議室

議 題

1. 協議事項
 - (1) 2019年度の協議事項について
 - (2) 働き方改革について
 - (3) 情報交換について
 - (4) 福岡県ナースセンター事業運営委員会
(3/15会議) 報告
 - (5) その他
2. 報告事項
 - (1) 前回議事録について
 - (2) 私設病院協会研修会について
 - (3) 私設病院協会2月～3月の動き

◎監 査

日 時 4月9日(火)午後3時30分

場 所 協会校長室

内 容

1. 平成30年度事業報告
2. 平成30年度収入支出決算

◎広報委員会

日 時 4月9日(火)午後3時45分

場 所 協会事務室

議 題

1. 福私病ニュースの編集について
2. その他

◎理 事 会

日 時 4月9日(火)午後4時

場 所 協会会議室

議 題

1. 会長あいさつ
2. 協議事項
 - (1) 会員異動について
 - (2) 研修会について
 - (3) 地域医療構想について
 - (4) 第6回(2019年度)定時総会について
 - (5) 平成30年度事業報告(案)について
 - (6) 平成30年度収入支出決算(案)について
 - (7) 2019年度「福私病ニュース」の表題
について
 - (8) 「看護部長会運営委員会」委員の交代
について
 - (9) 福岡市医師会における内科病院二次
救急医療体制について
3. 報告事項
 - (1) 私設病院協会
 - (2) 看護学校
 - (3) 医療関連協業組合
 - (4) 全日病、日慢協、日医法人協 他連絡

◎研 修 会

日 時 4月17日(水)午後3時

場 所 天神スカイホール

演 題 「日本の医療、転換期の渦中において」

講 師 慶應義塾大学

商学部 教授 権丈 善一 氏

参加者 52施設 90名

「人材育成について思うこと」

医療法人みらい 筑紫野病院
看護部長

宮本 正美

先日、新元号の発表がありました。恐らくこの拙文が皆様の目に触れるころには「令和」の時代が始まっていることと思います。新元号の発表を聞いた時「どうもピンと来ない…」と思っていましたが何度も見聞きしていると「中々いいんじゃない？」と思うようになりました。当院の所在地である筑紫野市のお隣、太宰府市に新元号の語源があるということも影響したのかもしれません。昔は筑紫野市も太宰府市も筑紫郡でしたので。新元号にゆかりのある坂本八幡宮に多くの人を訪れているというニュースを毎日のように目にします。私は筑紫野市の出身では有りませんが、ちょっぴり鼻が高い感じですね。観光のみならず、そのほかの分野でも周辺地域がますます発展していくことを願うばかりです。

さて、もう過去となる平成の時代ですが、その元年に私は看護の資格を取得し、本格的に看護業務を始めました。高校卒業後に初めて就く仕事でしたので、当時は学生気分が抜けず、また社会人としての自覚も欠けていたと思います。更に精神科病院は未知の世界でしたので、入職当初はリアリティーショックを受けたのを覚えています。ご指導を頂いた諸先輩方には大変ご苦労をお掛けしたことと思います。しかし、そんな自分を突き放さず精神科看護の魅力を教えて下さったことに大変感謝しております。「この先輩（時には同僚や後輩の時もありましたが）のようになりたい」というお手本となる方に沢山出会えたことで今の自分のスタイルが確立されたと思います。自分の仕事上のポリシーは「そっせんすいはん率先垂範」です。新しいことに取り

組むときは先ず自分がやってみることで。「自分が行ったことのないことは人には教えられない」と思っています。現在は管理的立場になり、事務的仕事も増えてしまったので現場に居る時間が少なくなりましたが、今でも訪問、外来を担当し、時間が許す限り病棟に入ってスタッフとともに看護を行っています。時々自分が業務に没頭しすぎて指導が疎かになってしまうことがあります。

近年、新人看護職員の早期退職が問題になっています。「どのようにして離職を防止するか」についてプリセプター制度やラダーなど様々な取り組みを行っていることと思います。しかし、最も大切なのはOJTではないか？と私は思っています。人材育成の研修会などに参加すると恰も最近の若者と自分たちの世代とでは指導方法が違う、というようなことを聞きますが、本当にそうなのでしょうか？ もちろん「俺の後姿を見て学べ、技術を盗め！」と言い放ち、フォローを全くしないのは乱暴だと思いますが、私自身がそうして育ててもらったように今後も一緒に看護業務に取り組みながら精神看護の楽しさを伝え、自分で言うのはおこがましいですが手本として頂ける様な存在でありたいと思います。

最後になりますが、平成の時代にお仕事上でお世話になった全ての方々へ御礼申し上げます。三十余年にわたってこの仕事をし続けることが出来たのも皆様のお蔭です。令和の時代になっても引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理 事 会

第 64 回理事会 報告

日 時 平成 31 年 4 月 23 日 (火)

16:00 ~ 16:30

場 所 九州大学医学部百年講堂 中ホール 3

(福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号)

出席者 (敬称略)

会 長 赤司

副会長 井上、八木、一宮

理 事 平専務理事、岩永総務理事、澄井財務理事、壁村企画理事、伊東、江頭、津留、寺坂、平城、深堀、増本、松浦、森田

計 17 名 (理事総数 23 名)

監 事 小柳、原、吉村

議 長 岡嶋

顧 問 河野、上野

I 行政等からの通知文書

特にありませんでした。

II 公益目的事業関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研究会関係

【開催予定】

ア 第 156 回看護研修会

寺坂担当理事から、報告がありました。

日 時 平成 31 年 6 月 10 日 (水)

10:00 ~ 15:00

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 急変の気づきと対応

— バイタルサインの変化の重要性 —

内 容

講演 1 「バイタルサインの変化と重症化の指標、RRS システムの導入」

九州大学病院 集中治療部

医師 牧 盾

講演 2 「急変を疑う状況での評価と判断」

九州大学病院

集中ケア認定看護師 鳥羽好和

講演 3 「急変症例から学ぶ具体的な対応」

公立学校共済組合九州中央病院

救急看護認定看護師 楠 久絵

III 収益事業、法人事務等関係

1 報告事項

(1) 各種委員会・研究会関係

【開催結果】

ア ほすびたる編集委員会

岡嶋委員長から、報告がありました。

日 時 平成 31 年 4 月 23 日 (火)

15:45 ~

場 所 九州大学医学部百年講堂 中ホール 3

協議事項

1. 5 月号の現況について

2. 6 月号・7 月号の編集計画について

【開催予定】

ア 第 1 回経営管理研究会

津留担当理事から、報告がありました。

日 時 平成 31 年 6 月 17 日 (月)

15:00 ~ 17:00

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ どうなる、福岡県地域医療構想について — 福岡県地域医療構想アドバイザーに聞く —

内 容

講演 1 「地域医療構想の進捗状況」(仮題)

産業医科大学医学部公衆衛生学教室

准教授 村松圭司

講演 2 「福岡県における在宅医療の現況と将来の予測」

福岡県医師会常任理事・辻内科ク

リニック院長 辻 裕二

(2) 第 63 回理事会の議事録について

平専務理事から、説明がありました。

了承されました。

(3) 平成 30 年度臨時会員総会の議事録について

平専務理事から、説明がありました。
了承されました。

場 所 TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター
903 会議室

- (4) 会長及び業務執行理事の活動状況報告について
平専務理事から、説明がありました。
了承されました。

- (2) 平成 31 年 5 月
ア ほすびたる編集委員会・理事会
日 時 平成 31 年 5 月 28 日 (火)
場 所 九州大学医学部百年講堂
中ホール 3
① 15:45～ほすびたる編集委員会
② 16:00～理事会

- (5) 会員の變更について
平専務理事から、説明がありました。

那珂川病院 (福岡市南区)
下川敏弘 前院長 → 吉村寛志 院長
福岡市立病院機構 福岡市民病院
(福岡市博多区)
竹中賢治 前理事長・名誉院長 →
桑野博行 院長
筑後市立病院 (筑後市)
吉田正 前院長 → 大内田昌直 院長
川添記念病院 (福岡市西区)
上床陽久 前院長 → 南川喜代晴 院長
了承されました。

- (3) 平成 31 年 6 月
ア 第 156 回看護研修会
日 時 平成 31 年 6 月 10 日 (月)
10:00～15:00
場 所 九州大学医学部百年講堂
イ 第 1 回経営管理研究会
日 時 平成 31 年 6 月 17 日 (月)
15:00～17:00
場 所 九州大学医学部百年講堂

2 協議事項

- (1) 理事の補充選任に係る選挙日程について
平専務理事から、竹中副会長と吉田理事の退任
に伴い理事 2 名を補充選任するための選挙日程
案について説明が行われ、承認されました。
選挙の公示 令和元年 5 月 24 日
立候補届又は推薦届の提出期限
令和元年 6 月 7 日
候補者一覧表を会員に送付
令和元年 6 月 14 日発送
定時会員総会の開催 (選任)
令和元年 6 月 25 日

- ウ ほすびたる編集委員会・理事会・定時会員
総会
日 時 平成 31 年 6 月 25 日 (火)
場 所 タカクラホテル福岡
① 15:45～ほすびたる編集委員会
② 16:00～理事会
③ 17:00～第 7 回定時会員総会
④ 終了後 臨時理事会
⑤ 終了後 懇親会

3 行事予定

平専務理事から、説明がありました。

- (1) 平成 31 年 4 月
ア 第 1 回看護委員会
日 時 平成 31 年 4 月 25 日 (木)
13:30～

4 最近の医療情勢について

外国人患者の受入体制や未払問題、宗像市
と宗像医師会病院等との災害時協定、地域医
療支援病院の見直しについて、出席者の問い
かけに応じ情報交換が行われました。

医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器機等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

「安心・安全・清潔」 未来を見つめて...



事業内容：医療介護福祉の総合提案企業

- 医療機関等への寝具・病衣・白衣等のリース及び洗濯
- メンテナンス付マットレスのリース・レンタル
- 衣類(私物)の洗濯
- 紙オムツの販売及び大人用布おむつのリース及び洗濯
- タオル・オシボリのリース及び販売
- 産業廃棄物の収集運搬
- 病院用ベッド及び医療家具のリース及び販売
- テレビ・ランドリーのリース及び販売



太陽セランドグループ

太陽セランドホールディングス株式会社
〒812-0044 福岡市博多区千代1-1-5 TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

太陽セランド株式会社
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200 TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 **中島 健介**

太陽セランドグループ会社

太陽シルバースervice株式会社	〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田585-1	TEL:0946-21-4700 FAX:0946-21-4701
ジャパンエアマツ株式会社	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5	TEL:092-641-5085 FAX:0946-21-4701
太陽ホテルリネール株式会社	〒812-0063 福岡県福岡市東区原田4-17-25	TEL:092-624-1321 FAX:092-624-1323
株式会社メディカルナビケーション	〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5	TEL:092-651-0700 FAX:092-641-2672
株式会社セランド	〒802-0979 福岡県北九州市小倉南区徳力新町1-25-22	TEL:093-961-0581 FAX:093-961-0009
株式会社北九州シーアイシー研究所	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200	TEL:0947-46-2029 FAX:0947-46-2101
株式会社おたふく屋	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200	TEL:0947-42-3215 FAX:0947-42-3217
株式会社サンウエックス	〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200	TEL:0947-46-1508 FAX:0947-42-5445

ほすびたる 5月号をお届けします。

今月号は、新しい元号「令和」になっての第1号という、記念すべきものとなりました。それにふさわしく、内容も大変充実しています。原稿をお寄せいただいた著者の皆様に、心より御礼を申し上げます。

新元号「令和」の出典は、「万葉集」であり、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められている」と、安倍首相が談話の中で語られました。このように、言葉の由来や語源を知ること、よりその言語の意味を理解し、親しみを感じることに繋がっていきます。

英語の単語を覚える際にも、その語源を知ること、より効率的にたくさんの単語が習得できると考えられます。清水建二氏の著書、「英単語が面白いほど身につく語源の本」(成美堂出版 2018年)には、たくさんの興味深い例が挙げられています。たとえば、ステーキを食べに行くと、メニューにある、サーロインステーキやテンダーロインステーキ。これらは最上質で、高価な肉として知られています。サーロイン(sirloin)の語源は、「loin」は「腰」、「sir」は「sur」(上の)という意味で、「腰の上の部分」とい

うことになります。英国国王のヘンリー8世が、腰の部分の肉を食べたとき、あまりのおいしさに sir の称号を与えた、とも言われていたそうですが、これは俗説のようです。テンダーロイン(tenderloin)の語源は、tender(柔らかい) + loin(腰の部分の肉)で、柔らかく、上質なステーキとして好まれていますね。tenderには「優しい」という意味もあります。

「Love me tender(やさしく愛して)」というエルヴィス・プレスリーの名曲を知る方も多いことでしょう。

さて、「ほすびたる」の語源を考えてみましょう。この言葉は、「ほす・びた・る」というふう構成されています。「ほす」は「欲(ほっ)する」、「びた」は「びたっと」、そして「る」は「ある」という意味で、「欲するものはびたっとある」、つまり「知りたい情報はすべて掲載されている」という言葉なのです。えっ、「そんなこと、聞いたことないよ」「うそだよ」ですって? そんなこと言っていると、チョコちゃんに叱られますよ。

「ポーっと生きてんじゃねーよ!」。

(岡嶋泰一郎 記)

ほすびたる

第736号

令和元年5月20日発行

発行 © (公社)福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号

福岡県メディカルセンタービル 2F

TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313

E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp

URL <http://www.f-kenbyou.jp>

編集 発行人 © (公社)福岡県病院協会

制作 © (株)梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1

麻生ハウス 3F

TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095

E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…赤司 浩一

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…一宮 仁

編集委員…平 祐二・澄井 俊彦

岩永 知秋・増本 陽秀

壁村 哲平・平野 礼子

第156回 看護研修会のご案内

開催日 2019年6月10日（月） 9：20～15：00

場 所 九州大学医学部百年講堂 1F 大ホール（福岡市東区馬出3丁目1-1）

受講料 会員病院 1人につき 3,500円
会員外病院 1人につき 5,000円

受講申込
締切日 2019年5月29日（水）

テ ー マ 急変の気づきと対応 — バイタルサインの変化の重要性 —

I 「バイタルサインの変化と重症化の指標、RRS システムの導入」

九州大学病院 集中治療部 医師 牧 盾

II 「急変を疑う状況での評価と判断」

九州大学病院 集中ケア認定看護師 鳥羽 好和

III 「急変症例から学ぶ具体的な対応」

公立学校共済組合九州中央病院 救急看護認定看護師 楠 久絵

2019年度 第1回 経営管理研究会のご案内

開催日 2019年6月17日（月） 14：30～17：00

場 所 九州大学医学部百年講堂 1F 大ホール（福岡市東区馬出3丁目1-1）

参加料 会員病院 1人につき 3,000円
会員外病院 1人につき 4,500円

参加申込
締切日 2019年6月10日（月）

テ ー マ どうなる、福岡県地域医療構想について
～ 福岡県地域医療構想アドバイザーに聞く ～

I 「地域医療構想の進捗状況」（仮題）

産業医科大学医学部公衆衛生学教室 准教授 村松圭司 先生

II 「福岡県における在宅医療の現況と将来の予測」

福岡県医師会 常任理事
辻内科クリニック 院長 辻 裕二 先生

*お問合せは福岡県病院協会事務局（TEL 092-436-2312／E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp）までお願いいたします。